



教育環境整備に向けたアンケート調査等の 結果（速報値）を公表します

松戸市教育委員会では、「新しい学校のあり方基本方針」及び「常盤平地区教育環境整備方針」の策定に向けて、通学や教育環境に関するご意見を伺うため、常盤平地域の就学前児童の保護者及び市民を対象としたアンケート調査を実施しました。

このたび、アンケート調査結果の速報値を取りまとめましたのでお知らせします。

1 アンケート調査の概要

(1) 教育環境整備に向けた市民アンケート調査

項目	内容
対象者	無作為抽出による市民 3,000 人
実施期間	令和8年7月9日(木曜)～7月24日(金曜)
配布数	3,000 件
回答数	1,296 件

(2) 小学校への通学等に関するアンケート

項目	内容
対象者	常盤平地域内の幼稚園・保育園に通う子どもの保護者
実施期間	令和8年7月1日(水曜)～7月12日(日曜)
配布数	717 件
回答数	291 件

2 アンケート調査結果（速報値）

- 教育環境整備に向けた市民アンケート調査結果（速報値）
- 小学校への通学等に関するアンケート調査結果（速報値）

【本件に関する問い合わせ先】

〒271-8588 千葉県松戸市根本356番地

松戸市教育委員会事務局みらい教育創造部教育政策推進課

☎047-703-9811

FAX 047-366-4070 ✉ mckyouikuseisaku@city.matsudo.chiba.jp

※本資料に掲載している数値は速報値であり、今後の精査、再集計等により訂正される場合があります。
確定値については、後日公表する調査結果報告書をご確認ください。

教育環境整備に向けた市民アンケート調査 (調査結果速報)

1. 調査概要

調査目的	子どもたちがのびのびと成長することができる、より魅力ある学校づくりに向け、「新しい学校のあり方基本方針」の策定を行うに当たり、その基礎資料とするため、学校のあり方等について、市民の意見や認識、考え方を把握・分析する。				
調査対象	無作為抽出した市民3,000人				
調査期間	令和8年7月9日(木)～令和8年7月24日(金)				
調査数	3,000	有効回答数	1,296 ※	有効回答率	43.2% ※

※ 令和8年7月24日現在

2. 調査結果速報

I. 回答者の属性

Q1 宛名に記載の方の年齢を教えてください。(あてはまるもの1つを選択)

選択肢	回答数	割合
1. 未就学児	26	2.0%
2. 小学生(6歳～12歳)	41	3.2%
3. 中学生(12歳～15歳)	22	1.7%
4. 15歳～17歳	18	1.4%
5. 18歳～20代	112	8.6%
6. 30代	157	12.1%
7. 40代	235	18.1%
8. 50代	261	20.1%
9. 60代	212	16.4%
10. 70代以上	208	16.0%
無回答	4	0.3%
全体	1296	100.0%

Q3 あなたが養育する高校生以下のお子様がいれば、教えてください。(あてはまるもの全てを選択)

選択肢	回答数	割合
1. 未就学児がいる	186	14.4%
2. 小学生がいる	200	15.4%
3. 中学生がいる	113	8.7%
4. 高校生がいる	103	7.9%
5. あてはまるものはいない	851	65.7%
無回答	20	1.5%
全体	1296	100.0%

※本資料に掲載している数値は速報値であり、今後の精査、再集計等により訂正される場合があります。
確定値については、後日公表する調査結果報告書をご確認ください。

II. 学校に対する考えについて

Q4 小学校児童のより良い教育環境のために、小学校では1学年あたりの学級数はどの程度が望ましいと思いますか。(あてはまるもの1つを選択)

選択肢	回答数	割合
1. 複式学級	35	2.7%
2. 1学級	38	2.9%
3. 2～3学級	791	61.0%
4. 4～5学級	379	29.2%
5. それ以上	32	2.5%
無回答	21	1.6%
全体	1296	100.0%

Q5 そのように考える理由を教えてください。(あてはまるもの全てを選択)

選択肢	回答数	割合
1. 子どもや教職員がお互いをよく知ることができるから	561	43.3%
2. 一人一人に目が行き届きやすいから	566	43.7%
3. 教室や特別教室などの教育施設が余裕をもって使えるから	225	17.4%
4. クラス替えなどにより多様な人間関係が築けるから	789	60.9%
5. 多様なクラブ活動や部活動の設置が可能になるから	305	23.5%
6. 多くの友達と交流できるから	652	50.3%
7. 多様な考え方や価値観に触れることができるから	501	38.7%
8. 学校行事や集団活動に活気が生じやすいから	538	41.5%
9. PTA活動等で役割分担により保護者の負担を分散しやすいから	110	8.5%
10. その他	41	3.2%
無回答	12	0.9%
全体	1296	100.0%

Q6 小学校では1学級あたりの人数の上限はどの程度が望ましいと思いますか。(あてはまるもの1つを選択)

選択肢	回答数	割合
1. 8人以下	7	0.5%
2. 9～18人	122	9.4%
3. 19～28人	811	62.6%
4. 29～35人	348	26.9%
無回答	8	0.6%
全体	1296	100.0%

Q7 そのように考える理由を教えてください。(あてはまるもの全てを選択)

Q7選択肢	Q6選択肢 1. 8人以下		2. 9～18人		3. 19～28人		4. 29～35人	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
1. 一人一人に目が行き届きやすいから	4	57.1%	83	68.0%	373	46.0%	35	10.1%
2. 子どもの理解度に応じたきめ細かな指導がしやすいから	2	28.6%	70	57.4%	255	31.4%	24	6.9%
3. 落ち着いた学習環境をつくりやすいから	1	14.3%	56	45.9%	223	27.5%	26	7.5%
4. 様々な学習活動やグループ活動がしやすいから	0	0.0%	24	19.7%	243	30.0%	156	45.0%
5. 子ども同士が学び合い、互いに成長できるから	0	0.0%	48	39.3%	289	35.6%	175	50.4%
6. 集団の中で切磋琢磨する環境を作ることができるから	0	0.0%	20	16.4%	220	27.1%	171	49.3%
7. 多くの友達と交流できるから	0	0.0%	20	16.4%	221	27.3%	195	56.2%
8. 多様な考え方や価値観に触れることができるから	0	0.0%	28	23.0%	204	25.2%	156	45.0%
9. 協調性や社会性が育ちやすいから	0	0.0%	30	24.6%	263	32.4%	160	46.1%
10. その他	0	0.0%	2	1.6%	10	1.2%	4	1.2%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
全体	7	100.0%	122	100.0%	811	100.0%	347	100.0%

※本資料に掲載している数値は速報値であり、今後の精査、再集計等により訂正される場合があります。
確定値については、後日公表する調査結果報告書をご確認ください。

Q8 中学校生徒のより良い教育環境のために、中学校では1学年あたりの学級数はどの程度が望ましいと思いますか。(あてはまるもの1つを選択)

選択肢	回答数	割合
1. 1学級	27	2.1%
2. 2～3学級	388	29.9%
3. 4～6学級	805	62.1%
4. それ以上	60	4.6%
無回答	16	1.2%
全体	1296	100.0%

Q9 そのように考える理由を教えてください。(あてはまるもの全てを選択)

Q8選択肢	1. 1学級	2. 2～3学級	3. 4～6学級	4. それ以上	割合
1. 子どもや教職員がお互いをよく知ることができるから	13	154	131	5	8.3%
2. 一人一人に目が行き届きやすいから	15	164	123	5	8.3%
3. 教室や特別教室などの教育施設が余裕をもって使えるから	3	80	93	3	5.0%
4. クラス替えなどにより多様な人間関係が築けるから	5	164	439	28	46.7%
5. 多様なクラブ活動や部活動の設置が可能になるから	4	88	375	23	38.3%
6. 多くの友達と交流できるから	3	131	411	26	43.3%
7. 多様な考え方や価値観に触れることができるから	3	112	392	24	40.0%
8. 学校行事や集団活動に活気が生じやすいから	2	103	402	23	38.3%
9. PTA活動等で役割分担により保護者の負担を分散しやすいから	1	19	63	3	5.0%
10. その他	0	1	3	5	8.3%
無回答	0	2	0	0	0.0%
全体	27	388	805	60	100.0%

Q10 中学校では1学級あたりの人数の上限はどの程度が望ましいと思いますか。(あてはまるもの1つを選択)

選択肢	回答数	割合
1. 8人以下	8	0.6%
2. 9～18人	83	6.4%
3. 19～28人	716	55.2%
4. 29～35人	482	37.2%
無回答	7	0.5%
全体	1296	100.0%

Q11 そのように考える理由を教えてください。(あてはまるもの全てを選択)

Q10選択肢	1. 8人以下	2. 9～18人	3. 19～28人	4. 29～35人	割合
1. 一人一人に目が行き届きやすいから	5	55	290	44	12.7%
2. 子どもの理解度に応じたきめ細かな指導がしやすいから	3	50	216	39	11.2%
3. 落ち着いた学習環境をつくりやすいから	2	40	192	30	8.6%
4. 様々な学習活動やグループ活動がしやすいから	0	16	239	228	65.7%
5. 子ども同士が学び合い、互いに成長できるから	0	29	262	224	64.6%
6. 集団の中で切磋琢磨する環境を作ることができるから	0	13	226	251	72.3%
7. 多くの友達と交流できるから	0	12	226	275	79.3%
8. 多様な考え方や価値観に触れることができるから	0	14	220	258	74.4%
9. 協調性や社会性が育ちやすいから	0	19	218	234	67.4%
10. その他	0	1	8	6	1.7%
無回答	0	0	3	1	0.3%
全体	8	83	716	482	138.9%

Q12 小学校の通学距離は徒歩で何分程度が適切だと思いますか。(あてはまるもの1つを選択)

選択肢	回答数	割合
1. 10分以下(概ね1km以内)	372	28.7%
2. 20分以下(概ね2km以内)	713	55.0%
3. 30分以下(概ね3km以内)	179	13.8%
4. 40分以下(概ね4km以内)	21	1.6%
5. それ以上	3	0.2%
無回答	8	0.6%
全体	1296	100.0%

※本資料に掲載している数値は速報値であり、今後の精査、再集計等により訂正される場合があります。
確定値については、後日公表する調査結果報告書をご確認ください。

Q13 中学校の通学距離は徒歩で何分程度が適切だと思いますか。(あてはまるもの1つを選択)

選択肢	回答数	割合
1. 10分以下(概ね1km以内)	73	5.6%
2. 20分以下(概ね2km以内)	580	44.8%
3. 30分以下(概ね3km以内)	513	39.6%
4. 40分以下(概ね4km以内)	113	8.7%
5. それ以上	10	0.8%
無回答	7	0.5%
全体	1296	100.0%

Q14 どのような通学路であれば安心して通えると思いますか。(あてはまるもの全てを選択)

選択肢	回答数	割合
1. 交通量が少ない	699	53.9%
2. 歩道の整備・見通しが良い	1102	85.0%
3. 横断歩道や信号機などの交通安全施設が整備されている	1045	80.6%
4. 人通りや地域の見守りがある	1006	77.6%
5. 複数の児童が利用する	735	56.7%
6. 特にない	11	0.8%
7. その他	30	2.3%
無回答	4	0.3%
全体	1296	100.0%

※本資料に掲載している数値は速報値であり、今後の精査、再集計等により訂正される場合があります。
確定値については、後日公表する調査結果報告書をご確認ください。

Ⅲ. 松戸市全体の学校のありかたについて

Q15 本市では、より魅力ある学校づくりに向け、学校の規模及び配置の適正化を含めた、新しい学校のあり方について検討を進めています。このような取り組みについてお考えに最も近いものを選びください。(あてはまるもの1つだけ選択)

選択肢	回答数	割合
1. 積極的に進めるべきだ	612	47.2%
2. どちらかといえば進めるべきだ	466	36.0%
3. どちらかといえば進めるべきではない	41	3.2%
4. 進めるべきではない	8	0.6%
5. 分からない	125	9.6%
6. その他	9	0.7%
無回答	35	2.7%
全体	1296	100.0%

Q15-1 理由について、あなたの考えに近い選択肢を選んでください。(あてはまるものすべてを選択)

選択肢	回答数	割合
1. 子ども同士が学び合える適切な学校規模を確保したいから	564	52.3%
2. 学校間の児童生徒数の偏りを改善したいから	317	29.4%
3. 将来の児童生徒数の変化に計画的に対応する必要があるから	398	36.9%
4. 教職員配置や学校運営を安定させたいから	382	35.4%
5. 校舎の建替えや施設整備とあわせて検討した方がよいから	281	26.1%
6. 教育環境をできるだけ公平にしたいから	405	37.6%
7. 施設維持費なども考慮する必要があるから	194	18.0%
8. 学校の老朽化に対応する必要があるから	265	24.6%
9. その他	14	1.3%
無回答	2	0.2%
全体	1078	100.0%

Q15-2 理由について、あなたの考えに近い選択肢を選んでください。(あてはまるものすべてを選択)

選択肢	回答数	割合
1. 小規模校には良い教育効果があると思うから	9	18.4%
2. 現在の学校配置に大きな問題を感じていないから	11	22.4%
3. 学校再編や学区変更は子どもの負担が大きいから	23	46.9%
4. 通学距離や通学時間が長くなることが心配だから	18	36.7%
5. 地域コミュニティへの影響が大きいから	7	14.3%
6. 教育内容の充実を優先すべきだから	7	14.3%
7. 住民や保護者との十分な合意形成が必要だから	9	18.4%
8. 将来の人口動向を見極めてから判断すべきだから	9	18.4%
9. 財政コストによる規模の適正化は考慮すべきではないから	6	12.2%
10. その他	2	4.1%
無回答	1	2.0%
全体	49	100.0%

※本資料に掲載している数値は速報値であり、今後の精査、再集計等により訂正される場合があります。
確定値については、後日公表する調査結果報告書をご確認ください。

Q16 近年、多くの自治体で学校の再編が進められています。松戸市において、学校再編を検討する場合、どのような点を特に重視すべきだと思いますか。（あてはまるもの5つを選択）

選択肢	回答数	割合
1. 多様な学びやICT教育など、新しい教育環境への対応	568	43.8%
2. 一定の学校規模（学級数・児童生徒数）の確保	546	42.1%
3. 小規模校の維持（小規模特認校の設置など）	128	9.9%
4. 少人数教育（少人数学級など）の実施	175	13.5%
5. 小中一貫教育の実施	181	14.0%
6. 特別な支援を必要とする児童生徒への配慮	453	35.0%
7. 通学区域の見直し（時間・距離・安全）	574	44.3%
8. 学校区の整備（小学校から同じ中学校へ進学しやすい通学区域にすること）	356	27.5%
9. 保護者・地域住民などとの十分な協議	195	15.0%
10. 学校が地域コミュニティの拠点として果たす役割	194	15.0%
11. 避難所など防災拠点としての機能	425	32.8%
12. 学校と公共施設（図書館など）の複合化	262	20.2%
13. 再編で学校が空き施設になった場合の有効活用	327	25.2%
14. 再編を進める学校の優先順位（校舎の老朽化、学校規模、通学環境など）	357	27.5%
15. 地域ごとの状況に応じた柔軟な対応	377	29.1%
16. 市の財政負担や将来の維持管理費	195	15.0%
17. 学校選択制の見直し	188	14.5%
18. スピード感のある対応	244	18.8%
19. その他	26	2.0%
無回答	18	1.4%
全体	1296	100.0%

IV. 常盤平第一小学校の通学区域の変更について

Q17 あなたは、常盤平第一小学校の受け入れ停止に向けた学区変更の検討についてご存じでしたか。（あてはまるもの1つだけ選択）

選択肢	回答数	割合
1. 内容まで知っていた	177	13.7%
2. 聞いたことはあった	428	33.0%
3. 今回初めて知った	677	52.2%
無回答	14	1.1%
全体	1296	100.0%

※本資料に掲載している数値は速報値であり、今後の精査、再集計等により訂正される場合があります。
確定値については、後日公表する調査結果報告書をご確認ください。

Q18 常盤平第一小学校の新入学児童の受け入れ停止に向けた通学区域の変更について、お考えに最も近いものをお選びください。(あてはまるもの1つだけ選択)

選択肢	回答数	割合
1. 積極的に進めるべきだ	418	32.3%
2. どちらかといえば進めるべきだ	457	35.3%
3. どちらかといえば進めるべきではない	68	5.2%
4. 進めるべきではない	29	2.2%
5. 分からない	285	22.0%
6. その他	12	0.9%
無回答	27	2.1%
全体	1296	100.0%

Q18-1 理由について、あなたの考えに近い選択肢を選んでください。(あてはまるものすべて選択)

選択肢	回答数	割合
1. 児童数が少なく、教育環境の維持が難しいから	510	58.3%
2. 一定規模の児童数のいる学校へ就学した方が教育効果が期待できるから	479	54.7%
3. 市全体の教職員配置や学校運営が改善されるから	291	33.3%
4. 市全体の施設の維持管理や更新を効率的に進められるから	223	25.5%
5. 将来の児童数を見据えた対応が必要だから	301	34.4%
6. その他	16	1.8%
無回答	4	0.5%
全体	875	100.0%

Q18-2 理由について、あなたの考えに近い選択肢を選んでください。(あてはまるものすべて選択)

選択肢	回答数	割合
1. 小規模校ならではの教育環境に魅力があるから	23	23.7%
2. 子どもの通学負担が大きくなるから	42	43.3%
3. 地域コミュニティへの影響が大きいから	12	12.4%
4. 今後、児童数が増える可能性があるから	13	13.4%
5. 受け入れ停止ではなく別の方法を検討すべきだから	33	34.0%
6. その他	4	4.1%
無回答	5	5.2%
全体	97	100.0%

※本資料に掲載している数値は速報値であり、今後の精査、再集計等により訂正される場合があります。
確定値については、後日公表する調査結果報告書をご確認ください。

V. 今後の進め方について

Q19 地域住民の意見を把握するためには、どのような手法が適切だと思いますが、あなたの考えに近い選択肢を選んでください。(あてはまるものすべて選択)

選択肢	回答数	割合
1. 地域懇談会（地域の代表者等が参加するもの）	325	25.1%
2. ワークショップ（誰でも参加できるもの）	434	33.5%
3. オープンハウス（パネル展示など気軽に意見を言えるもの）	280	21.6%
4. 説明会（公聴会など）	434	33.5%
5. アンケート	769	59.3%
6. 直接的な参加は望まない	146	11.3%
7. その他	51	3.9%
無回答	32	2.5%
全体	1296	100.0%

Q20 近年、自治体によっては学校の再編とあわせ、学童保育や公民館など、さまざまな機能を有した施設と学校を一体で整備しています。松戸市において、学校施設の複合化を検討する場合、どのような機能の施設と複合化すべきだと思いますか。(あてはまるもの全てを選択)

選択肢	回答数	割合
1. スポーツ施設（プール・アリーナ・運動場など）	637	49.2%
2. 集会施設（市民センターなど）	346	26.7%
3. 図書館	654	50.5%
4. ホール・劇場	169	13.0%
5. 保育所・幼稚園・認定こども園	465	35.9%
6. 児童関連施設（放課後児童クラブ・児童館・放課後等デイサービスなど）	723	55.8%
7. 防災施設（避難所、災害用ライフラインなど）	573	44.2%
8. 高齢者福祉施設	307	23.7%
9. 障害者福祉施設	181	14.0%
10. 医療・保健施設（診療所・保健センターなど）	213	16.4%
11. 複合施設は必要ない	45	3.5%
12. その他	18	1.4%
無回答	26	2.0%
全体	1296	100.0%

〈教育環境整備に向けた市民アンケート調査〉

●アンケート調査ご協力をお願い

日頃より、市民の皆様には本市の教育行政にご理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、松戸市教育委員会においては、子どもたちがのびのびと成長することができる、より魅力ある学校づくりに向け、「新しい学校のあり方基本方針」の策定に取り組んでおります。

この度、市民の皆様のご意見をお聞きし、取り組みの参考にさせていただくために、アンケート調査を実施いたします。

なお、調査の実施にあたっては、令和8年7月現在の住民基本台帳から無作為に3,000人を抽出いたしました。調査結果は松戸市ホームページ等で公表いたしますが、統計的に処理（無記名の調査であり、個人が特定されることはありません。）し、調査の目的以外には使用しません。

お忙しいところ大変恐縮ではございますが、調査の趣旨をご理解のうえ、皆様の率直な実感・ご意見をお聞かせいただきますよう、何卒ご協力をお願い申し上げます。

令和8年7月 教育長 波田 寿一

●ご回答にあたって

1. 質問には、本人（封筒の宛名の方）がお答えください。 ※お名前の記入は不要です。
18歳未満の方宛に届いている場合も、可能な限りご本人がお答えください。
2. 個人の秘密は厳守いたしますので、日頃ご自身が考えていることをお答えください。
3. 回答IDは、WEB回答との重複回答を避けるためのもので、個人を特定するものではありません。
4. 質問の中には、選択した番号により、次の質問につながるものがありますので、ご注意ください。
5. 回答が「その他」の場合には、（ ）内に具体的な内容をご記入ください。
6. 本調査では、アンケート用紙での郵送と、WEB専用ページによるご回答の2種類の方法をご用意しております。どちらか一方の方法でご回答ください。

郵送でのご回答

調査票に直接ご記入のうえ、同封の返信用封筒にて7月24日（金）に間に合うようにポストに投函してください。 ※ページの切取りや切手の貼付は不要です。

WEB専用ページでのご回答（パソコン、スマートフォン等）

右記QRコードアクセスし7月24日（金）までにご回答ください。
なお、回答にあたっては、下記に記載されている回答IDを入力してアンケートを開始してください。

回答ID：a1017



7. アンケートや回答内容をSNS等で外部に公開することはお控えください。
8. にほんご日本語が不慣れな方は、WEBからかいとう回答してください。ほんやく翻訳の仕方しかたもきざし記載しています。

●お問い合わせ先

〒271-8588 松戸市根本 356 番地 京葉ガスF松戸ビル5階
松戸市教育委員会 みらい教育創造部教育政策推進課 電話 047-703-9811

I . ご回答者様について、おうかがいいたします。

Q1 宛名に記載の方の年齢を教えてください。

※未成年の方に送付されている場合で保護者が回答する場合は、回答者の年齢を教えてください。
(あてはまるもの1つだけに○)

1. 未就学児	4. 15 歳～17 歳	7. 40 代	10. 70 代以上
2. 小学生 (6 歳～12 歳)	5. 18 歳～20 代	8. 50 代	
3. 中学生 (12 歳～15 歳)	6. 30 代	9. 60 代	

Q2 あなたのお住まいの地域の郵便番号を記入してください。

※郵便番号は、地域ごとの傾向を把握するために使用し、個人を特定する目的では使用しません。

			—				
--	--	--	---	--	--	--	--

Q3 あなたが養育する高校生以下のお子様がいれば、教えてください。

(あてはまるものすべてに○)

1. 未就学児がいる	3. 中学生がいる	5. あてはまるものはいない
2. 小学生がいる	4. 高校生がいる	

Ⅱ．学校に対する考えについて、おうかがいいたします。

日本の総人口は減少局面を迎えており、小・中学校の児童生徒数も減少しています。本市においても同様の傾向です。国の手引き※¹によると、「児童生徒が集団の中で、多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することを通じて一人一人の資質や能力を伸ばしていくという学校の特質を踏まえ、小・中学校では一定の集団規模が確保されていることが望ましいものと考えられます。」とされており、学校の適正規模・適正配置の検討を進める自治体も増えています。一方で、小規模校にはきめ細やかな教育などの利点もあります。

次の項目からは、学校のあり方などについて、皆様のお考えをお聞きます。

※¹ 文部科学省：「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」

Q4 小学校児童のより良い教育環境のために、小学校では1学年あたりの学級数はどの程度が望ましいと思いますか。(あてはまるもの1つだけに○)

- | | | |
|-----------------------|-----------|---------|
| 1. 複式学級※ ¹ | 3. 2～3 学級 | 5. それ以上 |
| 2. 1 学級 | 4. 4～5 学級 | |

※¹：一学級で複数の学年の児童が学ぶこと

Q5 そのように考える理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------------------|-----------------------------------|
| 1. 子どもや教職員がお互いをよく知ることができるから | 6. 多くの友達と交流できるから |
| 2. 一人一人に目が行き届きやすいから | 7. 多様な考え方や価値観に触れることができるから |
| 3. 教室や特別教室などの教育施設が余裕をもって使えるから | 8. 学校行事や集団活動に活気が生じやすいから |
| 4. クラス替えなどにより多様な人間関係が築けるから | 9. PTA 活動等で役割分担により保護者の負担を分散しやすいから |
| 5. 多様なクラブ活動や部活動の設置が可能になるから | 10. その他（ ） |

Q6 小学校では1学級あたりの人数の上限はどの程度が望ましいと思いますか。

(あてはまるもの1つだけに○)

※国では上限を35人としています。8人以下は複式学級の可能性があります。

- | | |
|----------|-----------|
| 1. 8人以下 | 3. 19～28人 |
| 2. 9～18人 | 4. 29～35人 |

Q7 そのように考える理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------------------|-----------------------------|
| 1. 一人一人に目が行き届きやすいから | 6. 集団の中で切磋琢磨する環境を作ることができるから |
| 2. 子どもの理解度に応じたきめ細かな指導がしやすいから | 7. 多くの友達と交流できるから |
| 3. 落ち着いた学習環境をつくりやすいから | 8. 多様な考え方や価値観に触れることができるから |
| 4. 様々な学習活動やグループ活動がしやすいから | 9. 協調性や社会性が育ちやすいから |
| 5. 子ども同士が学び合い、互いに成長できるから | 10. その他（ ） |

Q 8 中学校生徒のより良い教育環境のために、中学校では1 学年あたりの学級数はどの程度が望ましいと思いますか。(あてはまるもの1 つだけに○)

- | | |
|-----------|-----------|
| 1. 1 学級 | 3. 4～6 学級 |
| 2. 2～3 学級 | 4. それ以上 |

Q 9 そのように考える理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------------------|-----------------------------------|
| 1. 子どもや教職員がお互いをよく知ることができるから | 6. 多くの友達と交流できるから |
| 2. 一人一人に目が行き届きやすいから | 7. 多様な考え方や価値観に触れることができるから |
| 3. 教室や特別教室などの教育施設が余裕をもって使えるから | 8. 学校行事や集団活動に活気が生じやすいから |
| 4. クラス替えなどにより多様な人間関係が築けるから | 9. PTA 活動等で役割分担により保護者の負担を分散しやすいから |
| 5. 多様なクラブ活動や部活動の設置が可能になるから | 10. その他 () |

Q 10 中学校では1 学級あたりの人数の上限はどの程度が望ましいと思いますか。

(あてはまるもの1 つだけに○)

※国では段階的に上限を 35 人に進めており、中学 1 年生まで完了しています。8 人以下は複式学級の可能性があります。

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 8 人以下 | 3. 19～28 人 |
| 2. 9～18 人 | 4. 29～35 人 |

Q 11 そのように考える理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------------------|-----------------------------|
| 1. 一人一人に目が行き届きやすいから | 6. 集団の中で切磋琢磨する環境を作ることができるから |
| 2. 子どもの理解度に応じたきめ細かな指導がしやすいから | 7. 多くの友達と交流できるから |
| 3. 落ち着いた学習環境をつくりやすいから | 8. 多様な考え方や価値観に触れることができるから |
| 4. 様々な学習活動やグループ活動がしやすいから | 9. 協調性や社会性が育ちやすいから |
| 5. 子ども同士が学び合い、互いに成長できるから | 10. その他 () |

Q 12 小学校の通学距離は徒歩で何分程度が適切だと思いますか。

※国の基準ではおおむね 4km 以内としています (あてはまるもの1 つだけに○)

- | | | |
|-----------------------|-----------------------|---------|
| 1. 10 分以下 (概ね 1km 以内) | 3. 30 分以下 (概ね 3km 以内) | 5. それ以上 |
| 2. 20 分以下 (概ね 2km 以内) | 4. 40 分以下 (概ね 4km 以内) | |

Q13 中学校の通学距離は徒歩で何分程度が適切だと思いますか。

※国の基準ではおおむね 6km 以内としています（あてはまるもの 1 つだけに○）

- | | | |
|----------------------|----------------------|---------|
| 1. 10 分以下（概ね 1km 以内） | 3. 30 分以下（概ね 3km 以内） | 5. それ以上 |
| 2. 20 分以下（概ね 2km 以内） | 4. 40 分以下（概ね 4km 以内） | |

Q14 どのような通学路であれば安心して通えると思いますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | | |
|-----------------|------------------------------|---------------|
| 1. 交通量が少ない | 3. 横断歩道や信号機などの交通安全施設が整備されている | 5. 複数の児童が利用する |
| 2. 歩道の整備・見通しが良い | 4. 人通りや地域の見守りがある | 6. 特にない |
| 7. その他（ | | ） |

Ⅲ．松戸市全体の学校のあり方にかかわることについて、おうかがいいたします。

近年、子どもの人数の変化などにより、学校によって児童生徒数に差が見られる状況となっています。
児童生徒数が減少している学校では、クラス替えや切磋琢磨する教育活動などが困難となり、増加している学校では、学校施設を活用した教育活動の展開などが制約される場合があります。
次の項目からは、本市の取り組みについて、皆様のお考えをお聞きます。

Q15 このような状況を踏まえ、本市では、より魅力ある学校づくりに向け、学校の規模及び配置の適正化を含めた、新しい学校のあり方について検討を進めています。このような取り組みについてお考えに最も近いものをお選びください。(あてはまるもの1つだけに○)

- | | | |
|-------------------|----------------------|----------|
| 1. 積極的に進めるべきだ | 3. どちらかといえば進めるべきではない | 5. 分からない |
| 2. どちらかといえば進めるべきだ | 4. 進めるべきではない | |
| 6. その他 (| |) |

(Q15で1～2を選択した人のみお答えください)

Q15-1 理由について、あなたの考えに近い選択肢を選んでください。
(あてはまるものすべてに○)

- | |
|--------------------------------|
| 1. 子ども同士が学び合える適切な学校規模を確保したいから |
| 2. 学校間の児童生徒数の偏りを改善したいから |
| 3. 将来の児童生徒数の変化に計画的に対応する必要があるから |
| 4. 教職員配置や学校運営を安定させたいから |
| 5. 校舎の建替えや施設整備とあわせて検討した方がよいから |
| 6. 教育環境をできるだけ公平にしたいから |
| 7. 施設維持費なども考慮する必要があるから |
| 8. 学校の老朽化に対応する必要があるから |
| 9. その他 (|

(Q15で3～4を選択した人のみお答えください)



Q15ー2 理由について、あなたの考えに近い選択肢を選んでください。

(あてはまるものすべてに○)

1. 小規模校には良い教育効果があると思うから 2. 現在の学校配置に大きな問題を感じていないから 3. 学校再編や学区変更は子どもの負担が大きいから 4. 通学距離や通学時間が長くなることが心配だから 5. 地域コミュニティへの影響が大きいから 6. 教育内容の充実を優先すべきだから 7. 住民や保護者との十分な合意形成が必要だから 8. 将来の人口動向を見極めてから判断すべきだから 9. 財政コストによる規模の適正化は考慮すべきではないから 10. その他 ()
--

Q16 近年、多くの自治体で学校の再編が進められています。

松戸市において、学校再編を検討する場合、どのような点を特に重視すべきだと思いますか。

(あてはまるもの5つまでに○)

- | | |
|---|---|
| <ol style="list-style-type: none">1. 多様な学びや ICT 教育など、新しい教育環境への対応2. 一定の学校規模（学級数・児童生徒数）の確保3. 小規模校の維持（小規模特認校※¹の設置など）※1 学区を広げて広範囲から入学が可能になる小規模の学校4. 少人数教育（少人数学級など）の実施5. 小中一貫教育の実施6. 特別な支援を必要とする児童生徒への配慮7. 通学区域の見直し（時間・距離・安全）8. 学校区の整備（小学校から同じ中学校へ進学しやすい通学区域にすること）9. 保護者・地域住民などとの十分な協議10. 学校が地域コミュニティの拠点として果たす役割11. 避難所など防災拠点としての機能12. 学校と公共施設（図書館など）の複合化13. 再編で学校が空き施設になった場合の有効活用14. 再編を進める学校の優先順位（校舎の老朽化、学校規模、通学環境など）15. 地域ごとの状況に応じた柔軟な対応16. 市の財政負担や将来の維持管理費17. 学校選択制の見直し18. スピード感のある対応19. その他（ | ） |
|---|---|

IV . 常盤平第一小学校の通学区域変更の検討について、おうかがいいたします。

常盤平第一小学校では、4月の新入学児童が1名であったことで、全校児童数が30名となりました。(転編入により令和8年7月1日現在では39名となりました。)

松戸市教育委員会では、①学級には一定規模の児童数を保持することが必要であると考えられること、②常盤平第一小学校は児童数が著しく減少していること、③近接して複数の小学校が存在していることから、令和9年度からの通学区域の変更を学区審議会に諮問し、新入学児童の受け入れ停止に向けた学区の変更を検討しています。

次の項目からは、常盤平第一小学校の通学区域の変更について、皆様のお考えをお聞きます。

詳細については、市ホームページをご確認ください。



松戸市教育委員会ホームページ
常盤平の新たな教育環境整備

Q17 あなたは、常盤平第一小学校の受け入れ停止に向けた学区変更の検討についてご存じでしたか。
(あてはまるもの1つだけに○)

- | | | |
|--------------|--------------|-------------|
| 1. 内容まで知っていた | 2. 聞いたことはあった | 3. 今回初めて知った |
|--------------|--------------|-------------|

Q18 常盤平第一小学校の新入学児童の受け入れ停止に向けた通学区域の変更について、お考えに最も近いものをお選びください。(あてはまるもの1つだけに○)

- | | | |
|-------------------|----------------------|----------|
| 1. 積極的に進めるべきだ | 3. どちらかといえば進めるべきではない | 5. 分からない |
| 2. どちらかといえば進めるべきだ | 4. 進めるべきではない | |
| 6. その他 () | | |

(Q18で1～2を選択した人のみお答えください)

Q18-1 理由について、あなたの考えに近い選択肢を選んでください。
(あてはまるものすべてに○)

- | |
|-------------------------------------|
| 1. 児童数が少なく、教育環境の維持が難しいから |
| 2. 一定規模の児童数のいる学校へ就学した方が教育効果が期待できるから |
| 3. 市全体の教職員配置や学校運営が改善されるから |
| 4. 市全体の施設の維持管理や更新を効率的に進められるから |
| 5. 将来の児童数を見据えた対応が必要だから |
| 6. その他 () |

(Q18で3～4を選択した人のみお答えください)



Q18ー2 理由について、あなたの考えに近い選択肢を選んでください。

(あてはまるものすべてに○)

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none">1. 小規模校ならではの教育環境に魅力があるから2. 子どもの通学負担が大きくなるから3. 地域コミュニティへの影響が大きいから4. 今後、児童数が増える可能性があるから5. 受け入れ停止ではなく別の方法を検討すべきだから6. その他 () |
|--|

V . 今後の進め方について、おうかがいいたします。

本市では、教育環境整備について、市民の皆様からご意見をいただきながら進めてまいりたいと考えています。
次の項目からは、教育環境の整備について、皆様のお考えをお聞きます。

Q19 地域住民の意見を把握するためには、どのような手法が適切だと思いますか。あなたの考えに近い選択肢を選んでください。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------------------|----------------|
| 1. 地域懇談会（地域の代表者等が参加するもの） | 5. アンケート |
| 2. ワークショップ（誰でも参加できるもの） | 6. 直接的な参加は望まない |
| 3. オープンハウス（パネル展示など気軽に意見を言えるもの） | 7. その他（ |
| 4. 説明会（公聴会など） | ） |

Q20 近年、自治体によっては学校の再編とあわせ、学童保育や公民館など、さまざまな機能を有した施設と学校を一体で整備しています。松戸市において、学校施設の複合化を検討する場合、どのような機能の施設と複合化すべきと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------------------------|---------------------------|
| 1. スポーツ施設（プール・アリーナ・運動場など） | 7. 防災施設（避難所、災害用ライフラインなど） |
| 2. 集会施設（市民センターなど） | 8. 高齢者福祉施設 |
| 3. 図書館 | 9. 障害者福祉施設 |
| 4. ホール・劇場 | 10. 医療・保健施設（診療所・保健センターなど） |
| 5. 保育所・幼稚園・認定こども園 | 11. 複合施設は必要ない |
| 6. 児童関連施設（放課後児童クラブ・児童館・放課後等デイサービスなど） | 12. その他（ ） |

自由記入欄

(松戸市の学校の適正規模や適正配置の検討についてご意見・ご要望などがありましたら、ご自由に記入してください。)

This image shows a blank sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and extend across the width of the page. There is no text or other markings on the paper.

ご協力ありがとうございました。

*記入済みの調査票は、同封の返信用封筒に入れ、

7月24日（金）までに、郵送してください。

※本資料に掲載している数値は速報値であり、今後の精査、再集計等により訂正される場合があります。
確定値については、後日公表する調査結果報告書をご確認ください。

小学校への通学等に関するアンケート調査 (調査結果の概要)

1. 調査概要

調査目的	魅力ある学校づくりに向け、「新しい学校のあり方基本方針」とあわせ、「常盤平地区教育環境整備方針」の策定に取り組むにあたり、常盤平地域でこれから小学校に就学予定の子どもがいる保護者様に意見を聞き、認識・考え方を把握し、今後の方針策定に活かしていく。				
調査対象	常盤平地域内の幼稚園・保育園に通っている子どもの保護者の皆さま 常盤平地域（常盤平1丁目～7丁目、常盤平双葉町、常盤平柳町、常盤平陣屋前、常盤平西窪町）				
調査期間	令和8年7月1日（水）～ 令和8年7月12日（日）				
調査数	717	有効回答数	291	有効回答率	40.6%

2. 調査結果速報

Q1 お子様の生年月日にあてはまる区分を選んでください。

No.	選択肢	回答数	割合
1	令和3年4月1日以前の生まれ	73	25.1%
2	令和3年4月2日～令和4年4月1日生まれ	53	18.2%
3	令和4年4月2日～令和5年4月1日生まれ	53	18.2%
4	令和5年4月2日～令和6年4月1日生まれ	49	16.8%
5	令和6年4月2日～令和7年4月1日生まれ	43	14.8%
6	令和7年4月2日以降の生まれ	20	6.9%
計		291	100.0%

Q2 お住いの地域で通常通うことになる小学校を教えてください。

No.	選択肢	回答数	割合
1	常盤平第一小学校	33	11.3%
2	常盤平第二小学校	45	15.5%
3	常盤平第三小学校	79	27.1%
4	その他	134	46.0%
計		291	100.0%

※本資料に掲載している数値は速報値であり、今後の精査、再集計等により訂正される場合があります。
確定値については、後日公表する調査結果報告書をご確認ください。

Q3 お子様が入学する小学校として、どの学校を希望していますか。(指定されている学校以外を希望している場合も含みます。)

No.	Q2回答	全体		常盤平第一小学校		常盤平第二小学校		常盤平第三小学校		その他	
		回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
1	常盤平第一小学校	5	1.7%	4	12.1%	0	0.0%	1	1.3%	0	0.0%
2	常盤平第二小学校	67	23.0%	18	54.5%	42	93.3%	1	1.3%	6	4.5%
3	常盤平第三小学校	79	27.1%	2	6.1%	0	0.0%	72	91.1%	5	3.7%
4	他の松戸市内の公立小学校	104	35.7%	7	21.2%	0	0.0%	3	3.8%	94	70.1%
5	私立小学校	1	0.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.7%
6	松戸市外の公立小学校	3	1.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	2.2%
7	その他	32	11.0%	2	6.1%	3	6.7%	2	2.5%	25	18.7%
計		291	100.0%	33	100.0%	45	100.0%	79	100.0%	134	100.0%

Q4 小学校までの通学時間は、どのくらいまでであれば通えると思いますか。(徒歩時間を前提に、お子様の通学時間として現実的だと思うものをお選びください。)

No.	選択肢	回答数	割合
1	10分未満	118	40.5%
2	11～20分	157	54.0%
3	21～30分	14	4.8%
4	30分以上	2	0.7%
計		291	100.0%

Q5 通学路(通常通うことになる小学校への通学)について、不安に感じるものがあれば教えてください。(あてはまるものをすべて選んでください。)

No.	選択肢	回答数	割合
1	交通量が多い	158	54.3%
2	道が狭い・見通しが悪い	143	49.1%
3	踏切や交差点が危険	74	25.4%
4	人通りが少ない	70	24.1%
5	特にない	64	22.0%
6	その他	19	6.5%
計		291	100.0%

Q6 入学する学校を選ぶうえで、どのような点を大切にしたいと考えていますか。(あてはまるものをすべて選んでください。)

No.	選択肢	回答数	割合
1	通学距離・時間	245	84.2%
2	通学路の安全性	225	77.3%
3	学校施設・設備	160	55.0%
4	教育内容や学校の取り組み	153	52.6%
5	現在の友人と同じ学校であること	110	37.8%
6	たくさんの友人や先輩と交流できること	80	27.5%
7	学校の雰囲気や校風	192	66.0%
8	特にない	4	1.4%
9	その他	9	3.1%
計		291	100.0%

※本資料に掲載している数値は速報値であり、今後の精査、再集計等により訂正される場合があります。
確定値については、後日公表する調査結果報告書をご確認ください。

Q7 市の取組について（１）：近年、子どもの人数の変化などにより、学校によって児童数に差がみられる状況となっています。このような状況を踏まえ、市では、学校の規模や配置のあり方など、今後のより良い教育環境について検討を進めています。このような取組について、お考えに最も近いものをお選びください。（ここでいう「学校の規模や配置のあり方」とは、学校の人数や通学区域などに関する考え方を指します。）

No.	Q7 選択肢	Q2 回答		全体		常盤平第一小学校		常盤平第二小学校		常盤平第三小学校		その他	
		回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
1	積極的に進めるべきだ	156	53.6%	22	66.7%	30	66.7%	29	36.7%	75	56.0%		
2	どちらかといえば進めるべきだ	87	29.9%	4	12.1%	11	24.4%	34	43.0%	38	28.4%		
3	どちらかといえば進めるべきではない	8	2.7%	3	9.1%	0	0.0%	2	2.5%	3	2.2%		
4	進めるべきではない	7	2.4%	1	3.0%	0	0.0%	2	2.5%	4	3.0%		
5	わからない	31	10.7%	2	6.1%	4	8.9%	11	13.9%	14	10.4%		
6	その他	2	0.7%	1	3.0%	0	0.0%	1	1.3%	0	0.0%		
	計	291	100.0%	33	100.0%	45	100.0%	79	100.0%	134	100.0%		

Q8 市の取組について（２）：常盤平第一小学校では、4月の新入学児童が1名であったことで、全校児童数が30名となりました（令和8年5月1日時点では32名）。松戸市教育委員会では、①学級には一定規模の児童数を保持することが必要であると考えられること、②常盤平第一小学校は児童数が著しく減少していること、③近接して複数の小学校が存在していることから、令和9年度からの通学区域の変更を学区審議会に諮問し、新入学児童の受け入れ停止に向けた学区の変更を検討することとしました。このような取組（現在検討を進めている内容）について、お考えに最も近いものをお選びください。

No.	Q8 選択肢	Q2 回答		全体		常盤平第一小学校		常盤平第二小学校		常盤平第三小学校		その他	
		回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
1	積極的に進めるべきだ	132	45.4%	23	69.7%	29	64.4%	22	27.8%	58	43.3%		
2	どちらかといえば進めるべきだ	84	28.9%	5	15.2%	8	17.8%	27	34.2%	44	32.8%		
3	どちらかといえば進めるべきではない	8	2.7%	1	3.0%	0	0.0%	5	6.3%	2	1.5%		
4	進めるべきではない	12	4.1%	1	3.0%	0	0.0%	4	5.1%	7	5.2%		
5	わからない	51	17.5%	2	6.1%	8	17.8%	18	22.8%	23	17.2%		
6	その他	4	1.4%	1	3.0%	0	0.0%	3	3.8%	0	0.0%		
	計	291	100.0%	33	100.0%	45	100.0%	79	100.0%	134	100.0%		